

部門貢献表彰を受賞して



高橋 直彦

日立インダストリアルプロダクツ

この度は、このような栄えある賞をいただき、大変光栄に存じます。表彰状に書かれているところによりますと、一つにはISO/TC108での活動を評価いただいたようです。

これは、少々古い話になりますが、防衛大名誉教授の松下修己先生が推進された磁気軸受に関する国際規格化のことかと存じます。1996年、TC108/SC2の中にワーキンググループWG7が立ち上がり、私も国内委員会の委員、幹事を務めさせていただきながら、WG7国際会議にも参加させていただきました。松下先生の強力なリーダーシップのもと日本人メンバが一丸となり、四つの規格を発行しました。一介の機械エンジニアとしては得難い経験をさせていただいたと感謝しております。

ほかには、機械状態監視資格認証事業での活動が挙げられております。これは、TC108/SC5が制定する機械の状態監視と診断に関する規格に呼応して日本機械学会が開始した事業であり、私自身は訓練機関を管理監督する委員会の委員、副委員長、委員長を務めさせていただきました。これについては当時神戸製鋼の加藤稔氏、東芝の榎田均氏が築いたレールの上を訳も分からず乗っかっただけであり、事業を立ち上げられた先人の功績に感謝いたします。今回、本部門での活動を通じていろいろな技術者、研究者とのつながりができたことを改めて思い起こしました。この受賞を契機により一層奮励し、微力ながら本部門の発展に貢献できたらと思っております。